

マイナビ進学会員定期調査《2022年2月》

報告書

マイナビ進学総合研究所では、進路を考える高校生に対し、高校生の意識や進路選択に関する状況などの把握をするために、マイナビ進学会員向けの定期調査を実施しております。2021年11月に続き、今回が2回目の実施となります。

【調査概要】

- 調査名 : マイナビ進学会員定期調査 (2022年2月)
- 調査方法 : メールにて調査告知を行い、WEBフォームにて回答
- 調査回収期間 : 2022年1月31日～2022年2月6日
- 調査対象者 : マイナビ進学会員の高校生
- 有効回答者数 : 1,203名 (1年生:234名/2年生:407名/3年生:545名/他:17名)

調査結果トピックス

・2022年2月時点で、80.4%の3年生が第一志望校を「最終決定」

1年生で50.9%、2年生で37.8%がまだ第一志望は決定していない状況。

・3年生の、21.8%が将来就きたい仕事を未検討。

将来就く仕事について検討しないまま、受験校決定期に突入している高校生が一定の割合存在。

・文系選択者は「教科への苦手/得意意識」、理系選択者は「将来なりたい職業の情報」が選択に影響。

19.5%の高校生が「コロナウイルスが文理選択に影響を与えた」と回答。

・8割を超える3年生が、受験勉強にスマートフォンを活用

「YouTubeで授業動画を見た」3年生が半数を超える。

本資料に掲載のデータ、図版等の無断転載を禁じます。資料のご利用やご質問等に関しては下記までご連絡ください。

株式会社マイナビ 未来応援事業本部 進学情報統括本部 マイナビ進学総合研究所

E-mail : ms-souken@mynavi.jp

URL: <https://souken.shingaku.mynavi.jp>

INDEX**1 現在の進路決定・検討状況・・・P 3**

- ・あなたの進学先を、大学にするか、短期大学にするか、専門学校にするかについて検討状況を教えてください。
- ・あなたの進学先で学びたい分野・系統の検討状況について教えてください。
- ・あなたが文系の学部学科に進学するか、理系の学部学科に進学するかの検討状況について教えてください。
- ・第一志望学校の検討状況について教えてください。
- ・併願する学校の検討状況について教えてください。

2 オープンキャンパス・体験入学への参加状況・・・P 4

- ・大学・短期大学・専門学校のキャンパスで開催されるオープンキャンパス・体験入学に初めて参加した時期をお知らせください（※オンライン開催のものは除く）
- ・学校キャンパスで開催されるオープンキャンパス・体験入学に今まで参加した学校数をお知らせください。
- ・あなたがオンラインでのオープンキャンパス・体験入学に初めて参加した時期をお知らせください。
- ・オンラインで開催されるオープンキャンパス・体験入学に今まで参加した学校数をお知らせください。

3 就きたい仕事の検討状況・・・P 6

- ・あなたは将来に就きたい仕事は決定していますか。

4 現時点で検討している入試方式・・・P 6

- ・あなたが現時点で最も強く検討している入試方式をお知らせください。

5 文理選択について・・・P 7

- ・それぞれの項目の、文理選択への影響度を選択してください。

進学先の入試／将来なりたい職業の情報／進学先で学びたい学問の情報／自身の成績やテストの結果
教科への苦手意識／教科への得意意識／教科科目への興味／高校の先生のアドバイス
保護者・家族のアドバイス／新型コロナウイルス感染症の流行

6 スマートフォンなどを用いた学習について・・・P 8

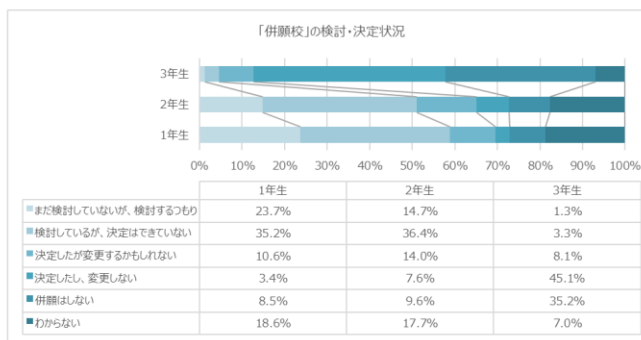
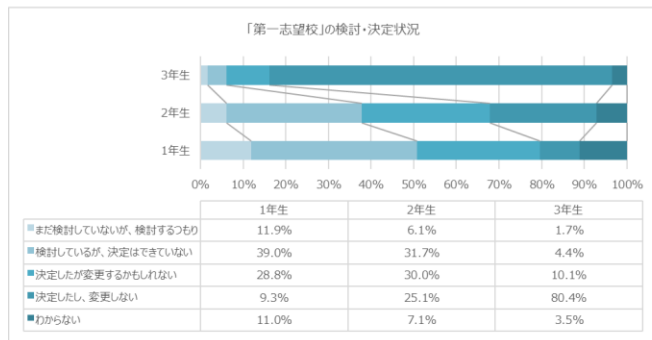
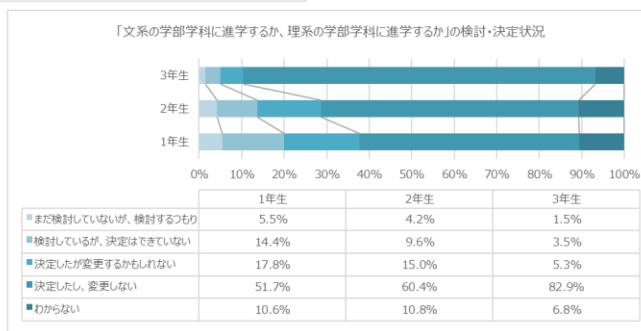
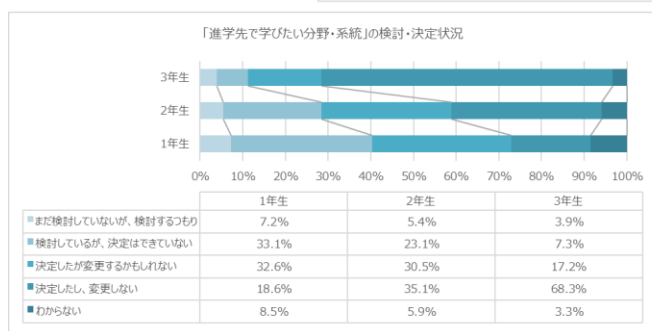
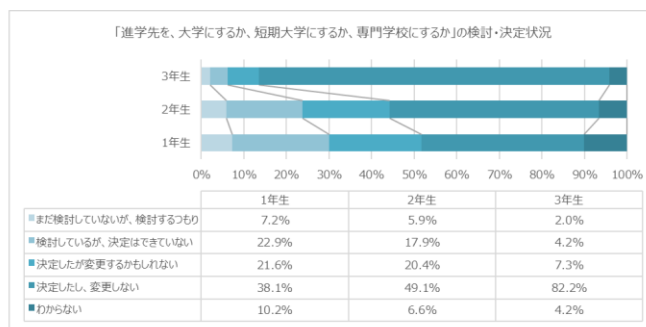
- ・大学・短期大学・専門学校などに進学するための受験勉強の際に「スマートフォン」は活用しましたか。
- ・受験勉強の際に、スマートフォンをどのような方法で活用しましたか。

1 現在の進路決定・検討状況

「進学先の種別の決定」「進学先の文理系統」「学びたい分野」「第一志望」「併願学校」といった、進学先決定に関する諸項目の現時点（2022年2月）における検討・決定状況を聞いた。

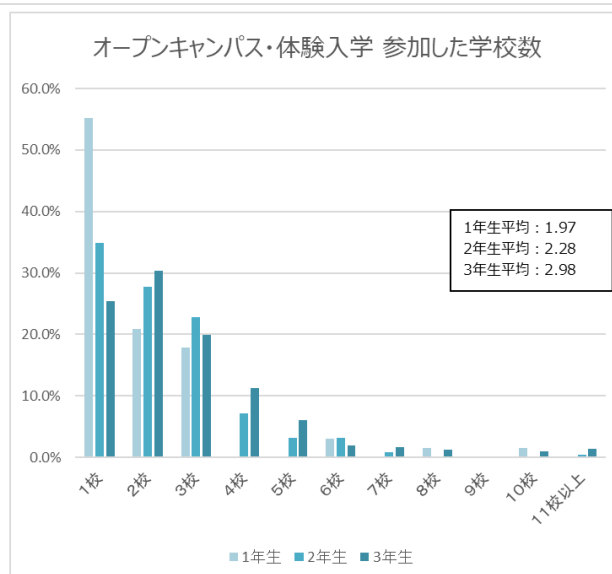
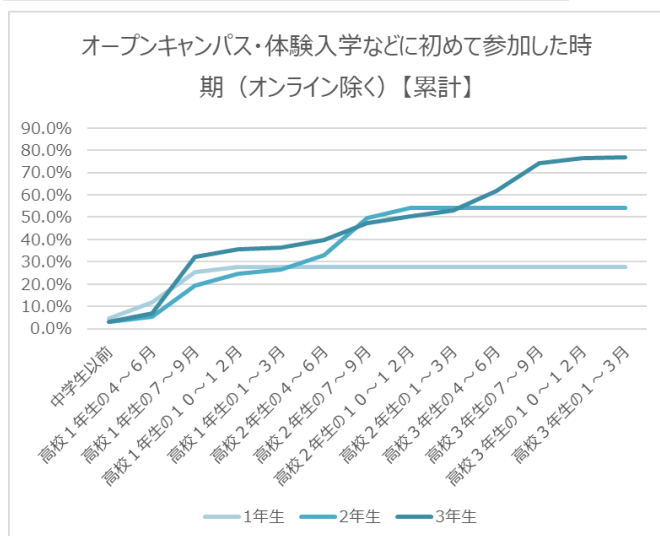
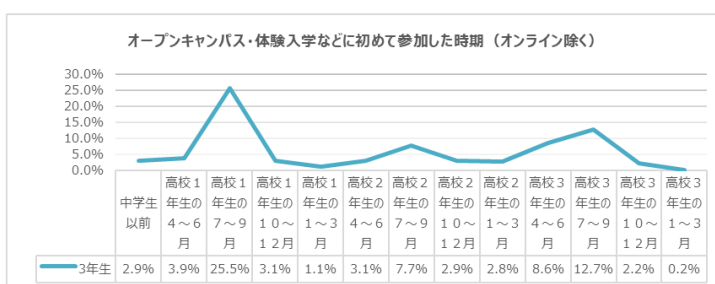
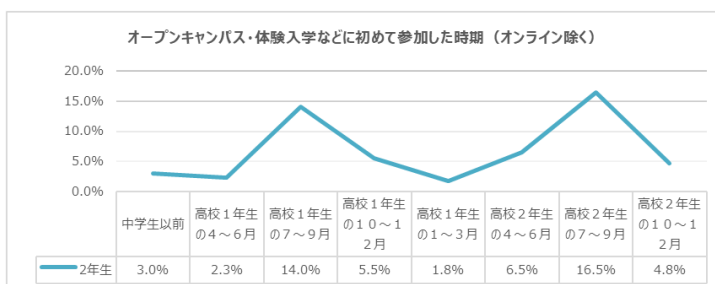
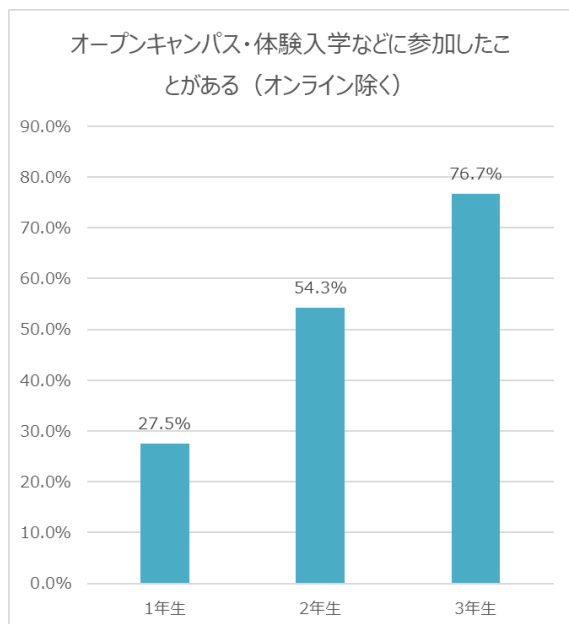
まず、「進学先を、大学にするか、短期大学にするか、専門学校にするか」については、3年生は82.2%が《決定しただし変更しない》と回答。一方で、1年生の30.1%、2年生の23.8%《決定していない》《検討していない》と回答しており、前回調査（2021年11月時点、以下同）でも、1年生29.5%、2年生22.6%であり、ほぼ変化しなかった。

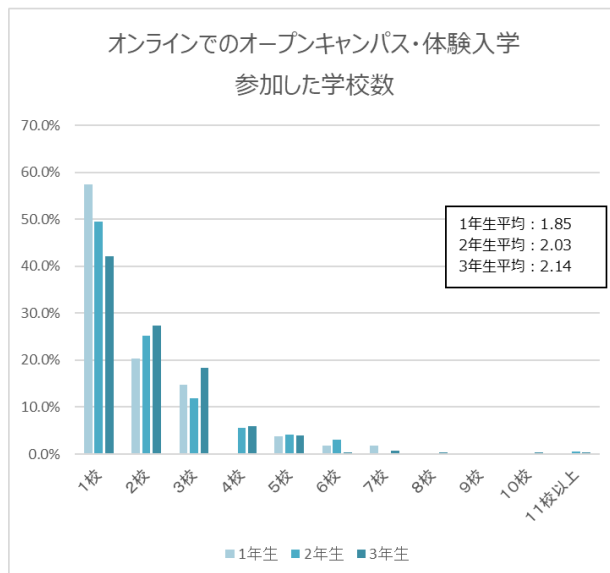
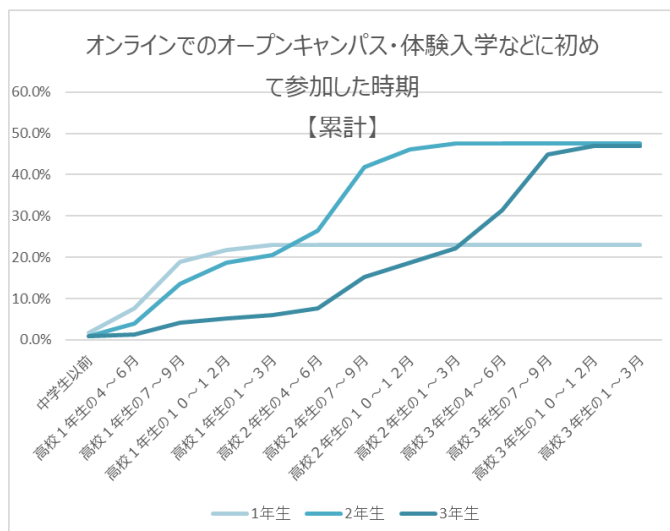
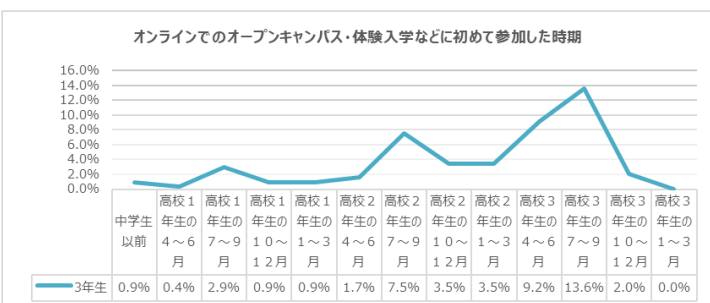
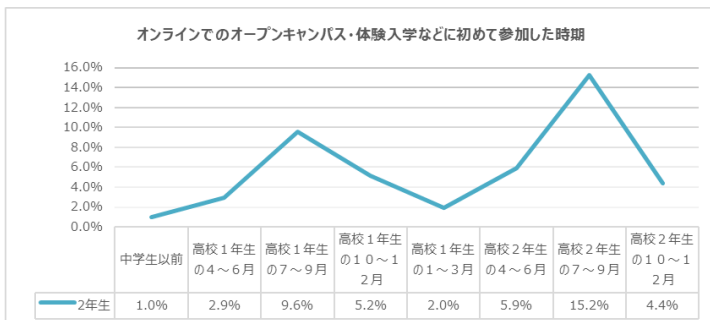
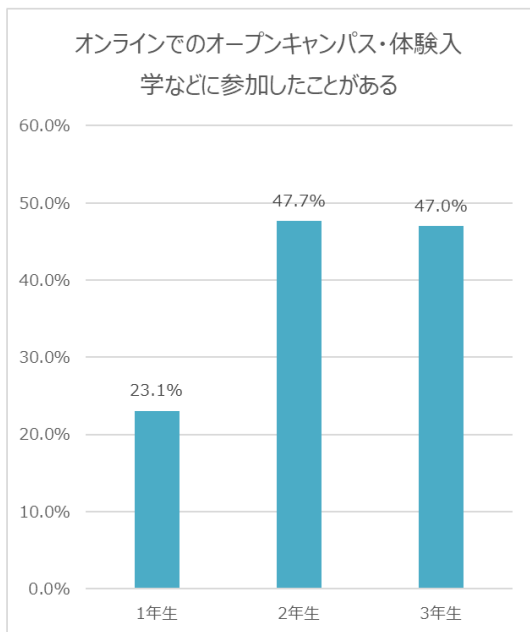
その他、「文系の学部学科に進学するか、理系の学部学科に進学するか」、「進学先で学びたい分野」についても、前回調査と比較し大きな変化は無かったが、「第一志望校」については3年生の《決定しただし変更しない》が、80.4%（前回調査67.6%）、「併願校」の3年生の《決定しただし変更しない》は、45.1%（前回調査19.5%）と大きく進捗している。一方で、3年生の「進学先で学びたい分野」を《決定しただし変更しない》割合は68.3%にとどまっており（前回は63.4%）、受験校が具体的に決定し始めているこの時期においても、引き続き検討している3年生が一定数いる状況にある。



2 オープンキャンパス・体験入学への参加状況

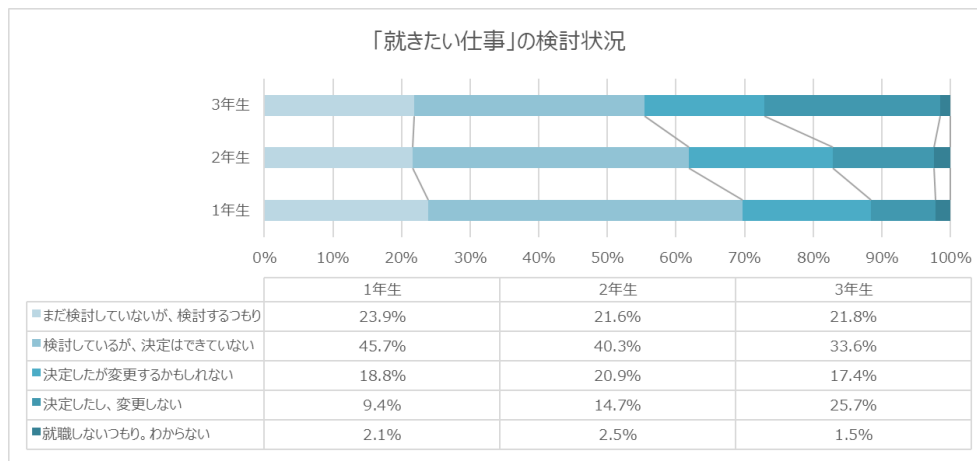
前回調査から今回調査の間（2021年11月～2022年2月）のイベント参加の進捗は限定的で、概ね前回調査と同様の傾向にある。





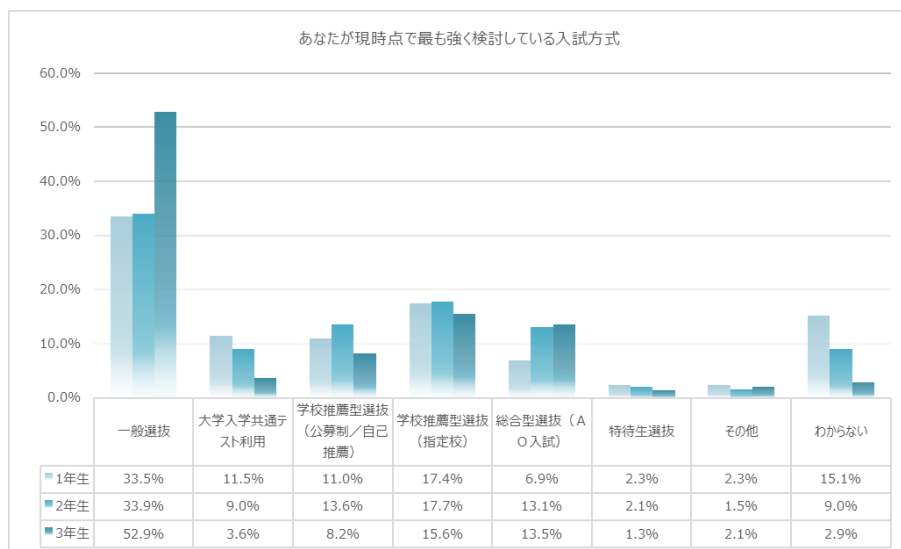
3 就きたい仕事の検討状況

進学先決定のその先の「就きたい仕事」の検討状況についても同様に聞いた。《まだ検討していないが、検討するつもり》との回答は、1年生で23.9%、2年生21.6%、3年生で21.8%となっており、特に3年生については、受験校決定期に突入しているが、前回調査同様、2割程度が未決定の状況にある。



4 現時点で検討している入試方式

学年ごとに、現時点でどの入試方式を検討しているかを聞いた。いずれの学年も《一般選抜》が最も多く、次いで《学校推薦型（指定校）》《総合型選抜》が多くなった。2月に入り、今年度受験で残る入試方式は一般選抜に絞られる状況にあるため、前回調査より3年生で《一般選抜》の割合が高まっている。

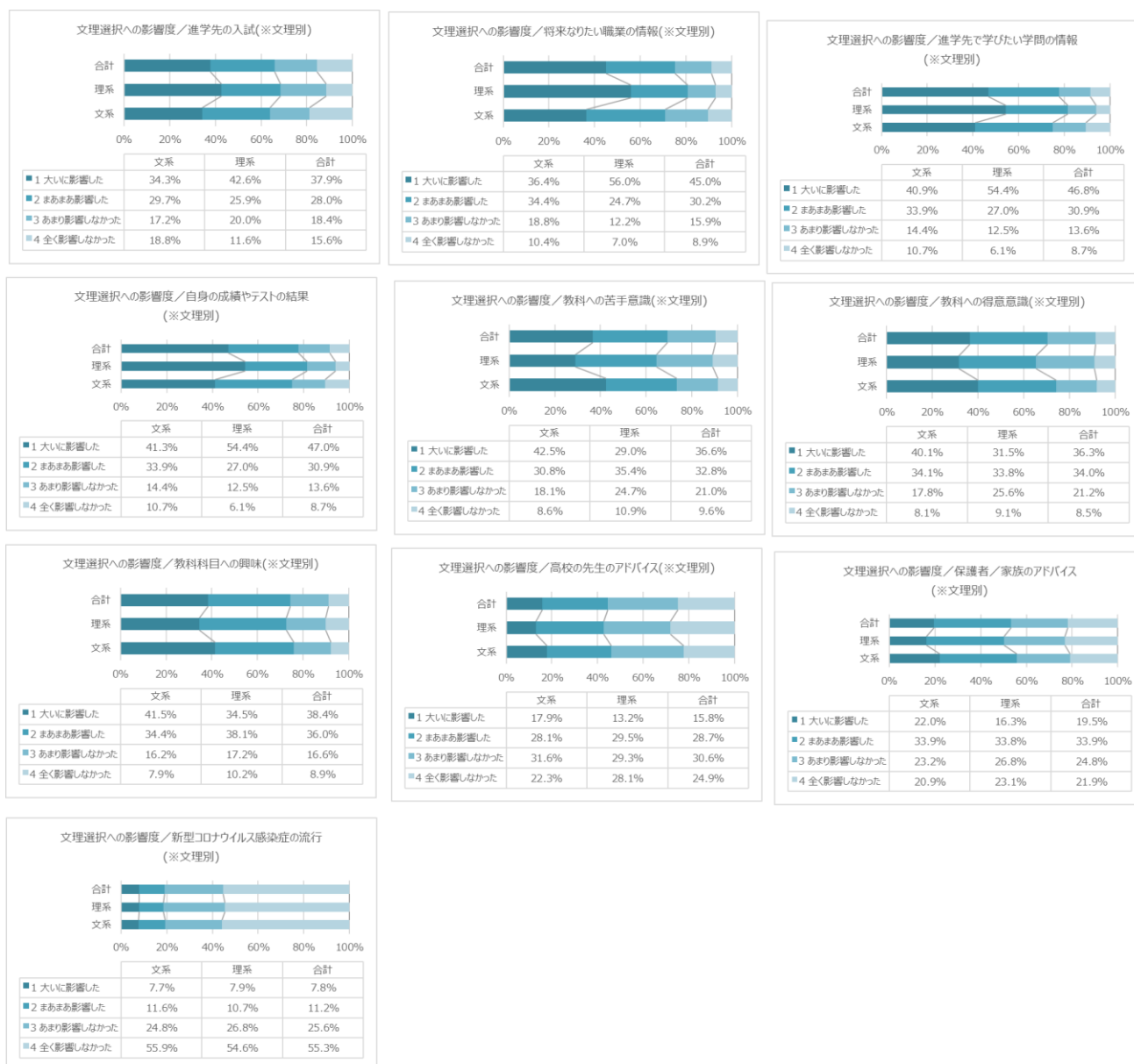


5 文理選択について

文理選択の際、どのような情報や働きかけが、文理選択に影響したかを、文理選択を決定した高校生を対象に調査した。

全体的として《大いに影響した》《まあまあ影響した》の割合が高かったのは、「自身の成績やテストの結果（同77.9%）」「進学先で学びたい学問の情報（全体で77.7%）」などとなった。一方で、《全く影響しなかった》《あまり影響しなかった》ものとしては、「高校の先生のアドバイス（55.4%）」「保護者／家族のアドバイス（46.6%）」など、他者からの働きかけが上位に来ている。また、「新型コロナウイルス感染症の流行」については、19.0%が《大いに影響した》《まあまあ影響した》と回答した。

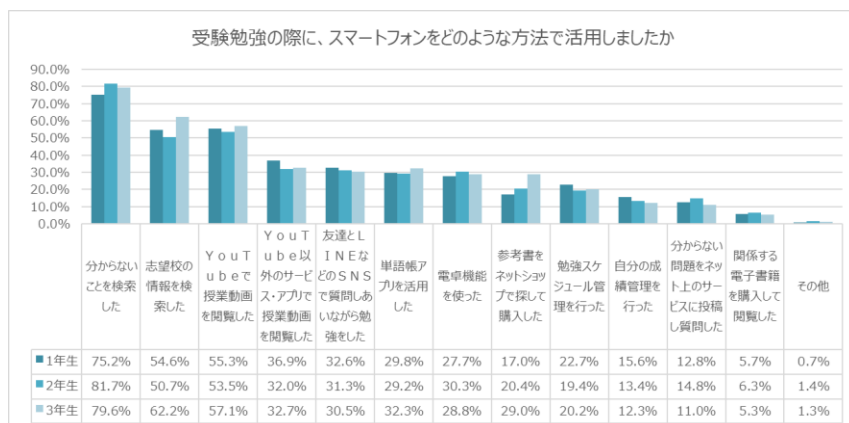
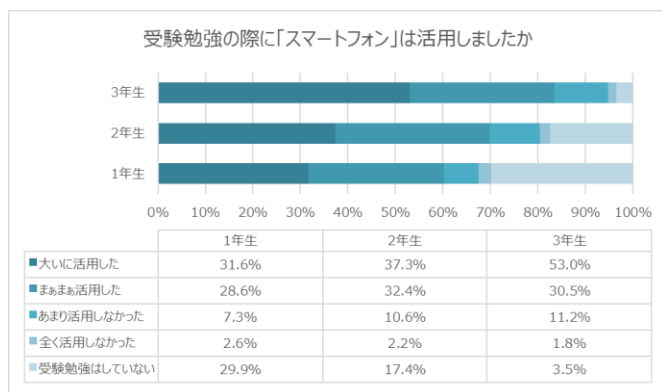
また、学年や文理ごとの回答を比較すると、文理によって傾向が異なっており、理系については「進学先で学びたい学問の情報」「将来なりたい職業の情報」などで《大いに影響した》の割合が高く、文系については「教科への苦手意識」「教科への得意意識」「教科科目への興味」などで《大いに影響した》の割合が比較的高くなっている。



6 スマートフォンなどを用いた学習について

今回の調査では、受験勉強の際の「スマートフォン利用」についても調査を行った。《大いに活用した》割合は53%の一方で、《全く活用しなかった》は1.8%となり、ほとんどの高校生が受験勉強にスマートフォンを利用している。

また、その利用方法として一番多かったのは《わからないことを検索した》が3年生の79.6%、その他《志望校の情報を検索した》《YouTubeで授業動画を見た》などが半数を超えた。



※上記回答《大いに活用した》《まあまあ活用した》会員のみ回答。(n=1年生:141/2年生:284/3年生:455)